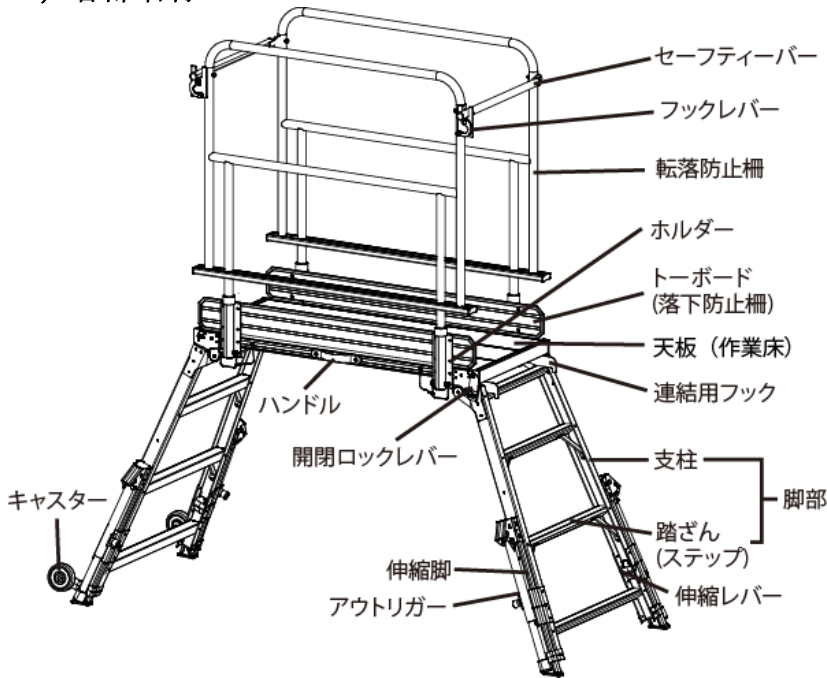




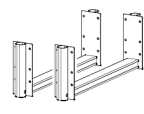
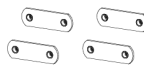





# 取扱説明書

## ワーク・ベンチ

品番：#75505200 型式：F77204

### 1, 各部名称



 転落防止柵 × 2	 トーボード (落下防止柵) × 2	 ホルダー × 2
 コネクター × 4	 六角ボルト (2.0mm) × 8	 六角ボルト (1.6mm) × 8
 ロックング ナット × 8	 スプリング ワッシャー × 8	 平面ワッシャー × 24

付属部品一覧

### 2, 使用方法

#### 2-1, 組立方法

①本商品の天板(作業床)を地面側に向けて置き、両脚部が止まるまで外側に向けて開いてください(図1参照)。

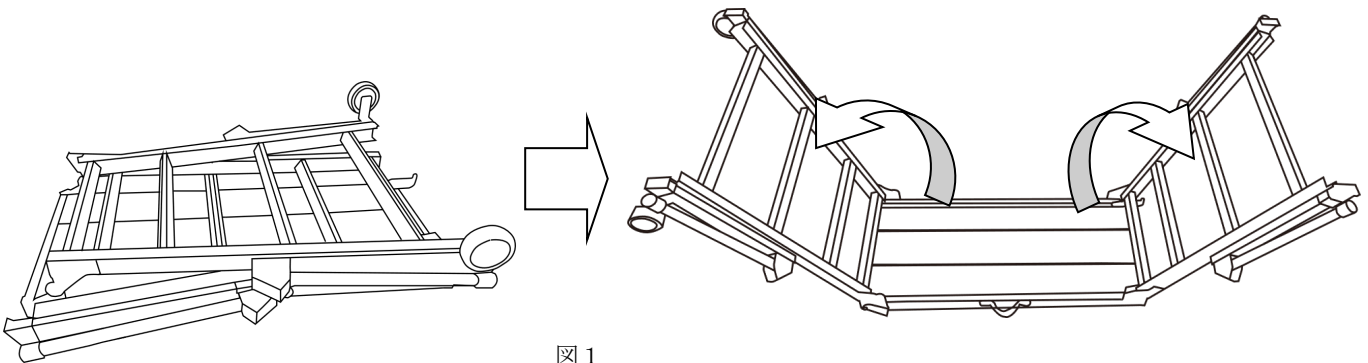


図1

②開閉ロックレバーを回転させ、金具でピンを挟んで脚部を固定してください(図2参照)。

反対側の開閉ロックレバーも同様に固定してください。

脚部が確実に固定されていることを確認し、天板(作業床)を持ち上げて、使用状態に起こしてください(図3参照)。

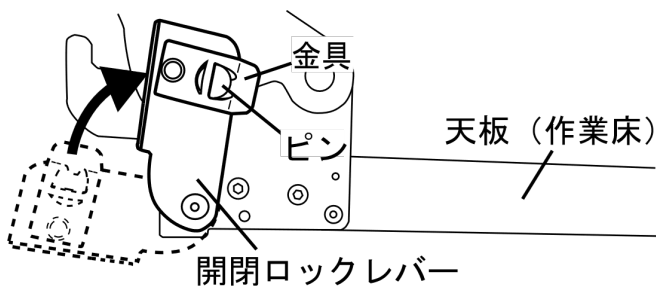


図2

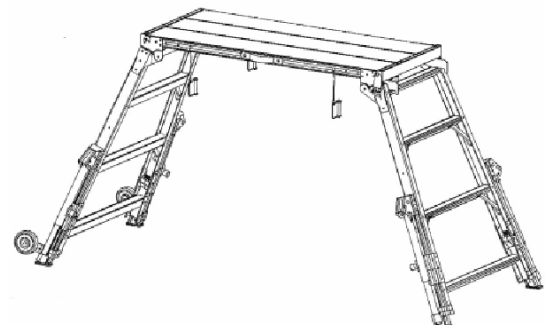
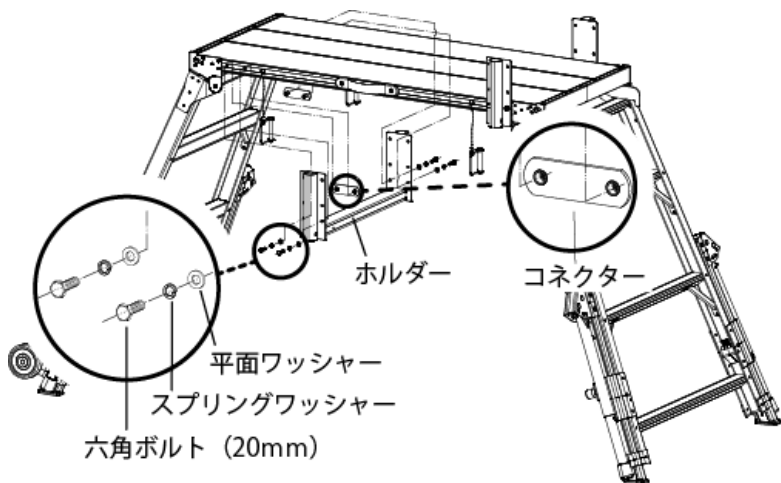


図3

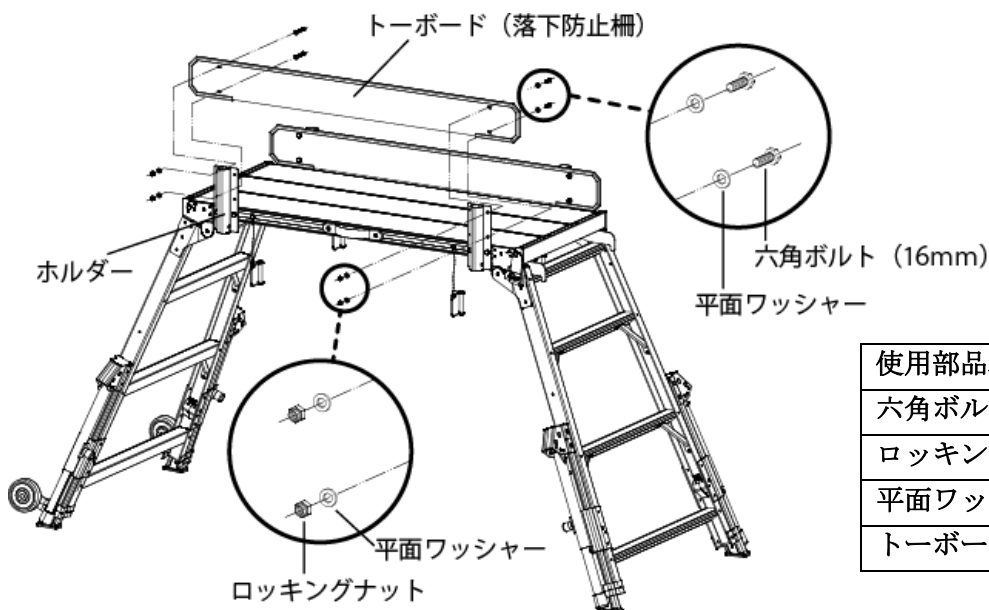
③天板(作業床)側面の裏側にコネクターをセットしてください。次にホルダーを天板(作業床)下側から差し込み(コネクターとホルダーで天板側面を挟み込む)、ホルダー最下部の穴、天板(作業床)側面の穴、コネクターのネジ穴位置を合わせて、六角ボルト(2.0mm)、スプリングワッシャー、平面ワッシャーを使用して仮止めしてください(次頁図4参照)。



使用部品名称	数量
六角ボルト(20mm)	8
スプリングワッシャー	8
平面ワッシャー	8
コネクター	4
ホルダー	2

図4

④③で取り付けしたホルダーに、トーボード(落下防止柵)の穴位置を合わせてセットし、六角ボルト(16mm)、平面ワッシャー、ロックングナットを使用して確実に固定してください(図5参照)。



使用部品名称	数量
六角ボルト(16mm)	8
ロックングナット	8
平面ワッシャー	16
トーボード(落下防止柵)	2

図5

⑤③で取り付けしたホルダーの位置を調整しながら、転落防止柵をそれぞれの穴位置が合うまで差し込み、天板(作業床)のピンを通して確実に固定してください。その際、転落防止柵のフックレバーは外側を向くように取り付けしてください(図6、次項図7参照)。次にセーフティーバーを対面側の転落防止柵に渡し、フックレバーを回転させてセーフティーバーをロックしてください(次頁図7参照)。最後に③で取り付けした六角ボルト(20mm)を確実に固定してください。

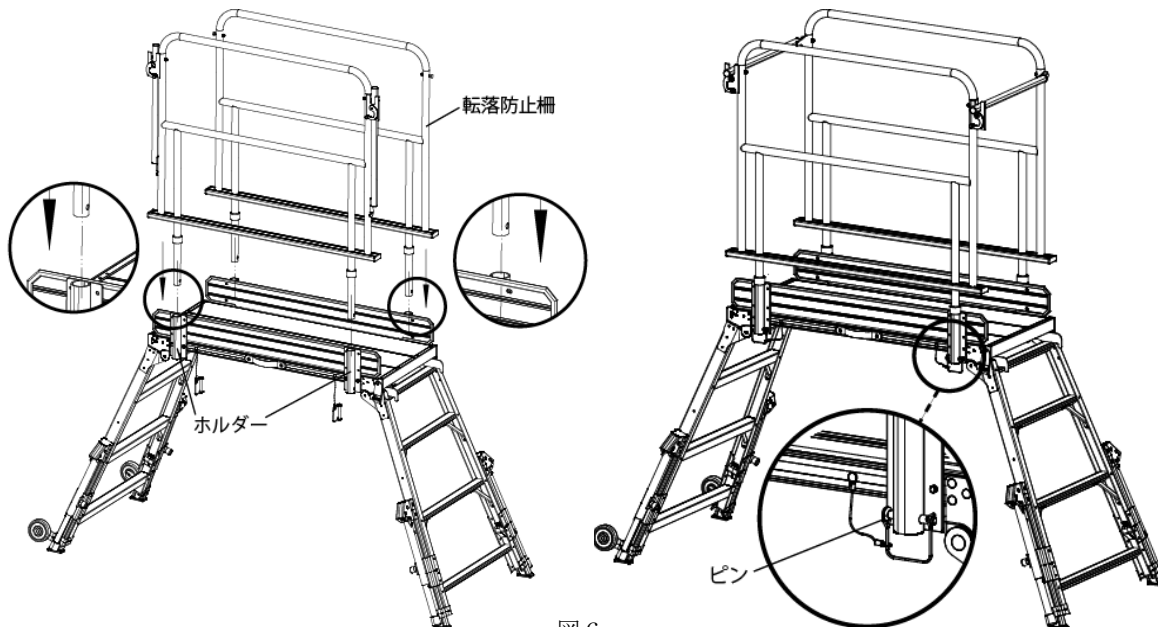


図6

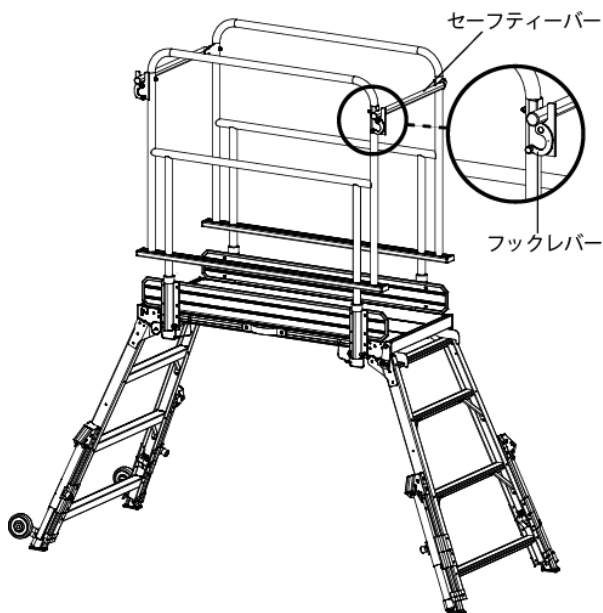


図 7

## 2-2, 使用前点検

- ①天板(作業床)や踏ざん(ステップ)に、油・樹脂などの滑りやすいものが付着していない事を確認してください。
- ②各部に変形や亀裂、腐食などの異常がない事を確認してください。
- ③リベット・ネジなどの緩みや脱落がない事を確認してください。
- ④開閉ロックレバーに緩みや変形がない事を確認してください。
- ⑤伸縮脚・アウトリガーを完全に伸ばして、変形や異物が付着していない事を確認してください。

## 2-3, 準備方法

### ●伸縮脚の伸縮方法

- ①脚部を地面から持ち上げた状態で、支柱内側の伸縮レバーを矢印の方向に押し込みながら、伸縮脚の金属部を手で押さえ伸縮脚をスライドさせてください。任意の位置で伸縮レバーを放し、伸縮脚を確実に固定してください(図8, 9参照)。

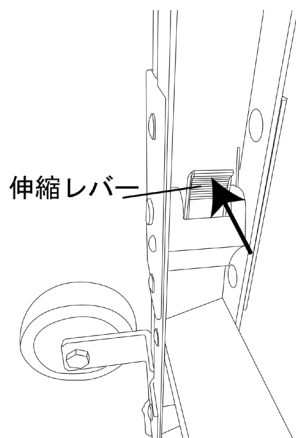


図 8

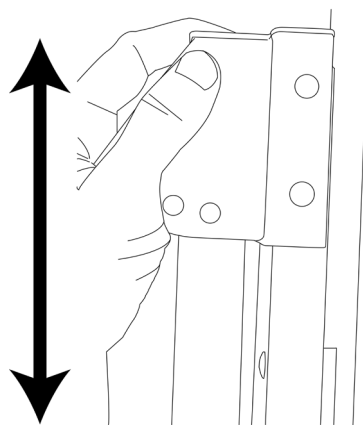


図 9

### ●アウトリガーの展開・伸縮方法

- ①アウトリガーのボタンを押してロックピンを解除し、矢印方向へアウトリガーを開いてください。ロックピンが中央の穴で確実に固定されていることを確認してください(次項図10参照)。
- ②アウトリガー裏側のノブを引き、アウトリガーが地面に接地するまで伸ばしてください(次項図11参照)。
- ③縮める場合は、ノブを引きながらアウトリガーの黒ゴム付近を手で持ち上げて、縮めてください(次項図11参照)。

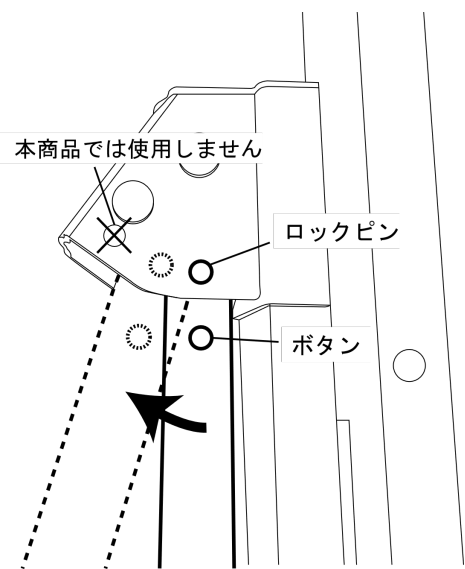


図 1 0

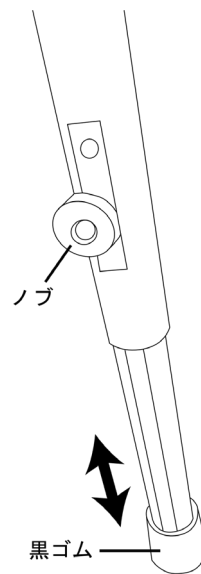


図 1 1

## 2-4, 昇降のしかた

- ①天板(作業床)上部の水平器を確認し、天板(作業床)が傾いていない事を確認してください。
- ②本商品のガタつき防止の為、昇降時は昇降側とは反対側のセーフティーバーを必ずロックしてください。
- ③昇降する時は、安全靴などの滑りにくい履き物を着用し、**身体の正面を脚部昇降面に向け**、両手両足を使って慎重に昇り降りしてください。
- ④踏ざん(ステップ)は決して段を飛ばさず、1段ずつしっかり足を掛けて昇降してください。

## 2-5, 作業のしかた

- ①作業は天板(作業床)の中央部で行ってください。
- ②作業姿勢に無理が生じそうな場合は、本商品を適正な位置に移動又は、適正な高さに調整し、無理な姿勢での作業は避けてください。
- ③昇降及び天板(作業床)上での作業は、**1名で使用**してください。連結時も必ず**1名で使用**してください。

## 2-6, 連結方法

※本商品は2台以上の連結が可能です。連結作業は、必ず**2名以上**で行ってください。

- ①被連結側本体の連結用フック無し側の開閉ロックレバーを解除して、脚部(キャスター付側)を垂直に立ててください(図12参照)。連結側本体の連結用フック側の開閉ロックレバーを解除して、脚部(キャスター無し側)を折りたたんでください。ホルダーベルトを踏ざん(ステップ)に回して、先端のカラビナを天板(作業床)裏の取付穴に掛けて確実にロックしてください(図13参照)。

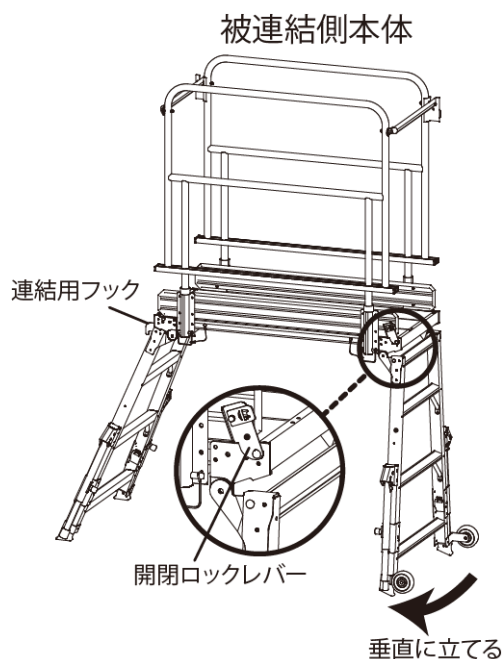


図 1 2

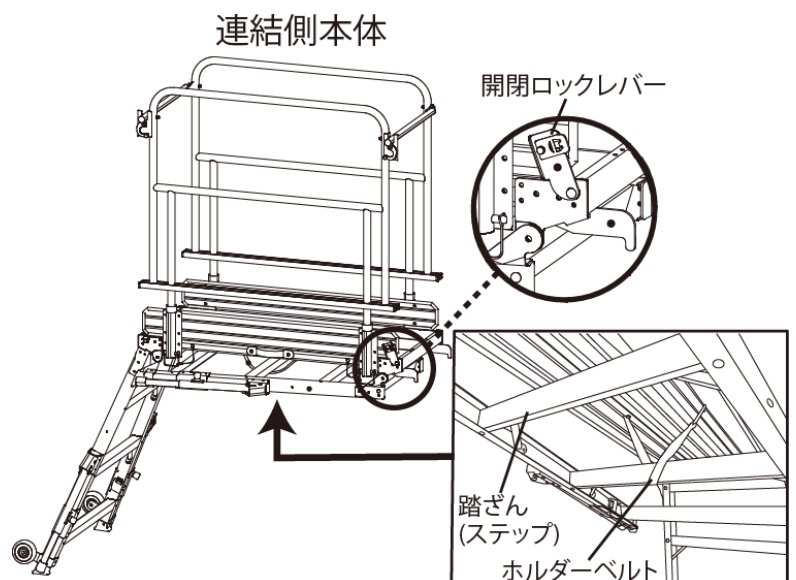


図 1 3

②連結側本体の連結用フックを、被連結側本体の天板(作業床)と脚部の隙間に差し込んでください(図14参照)。

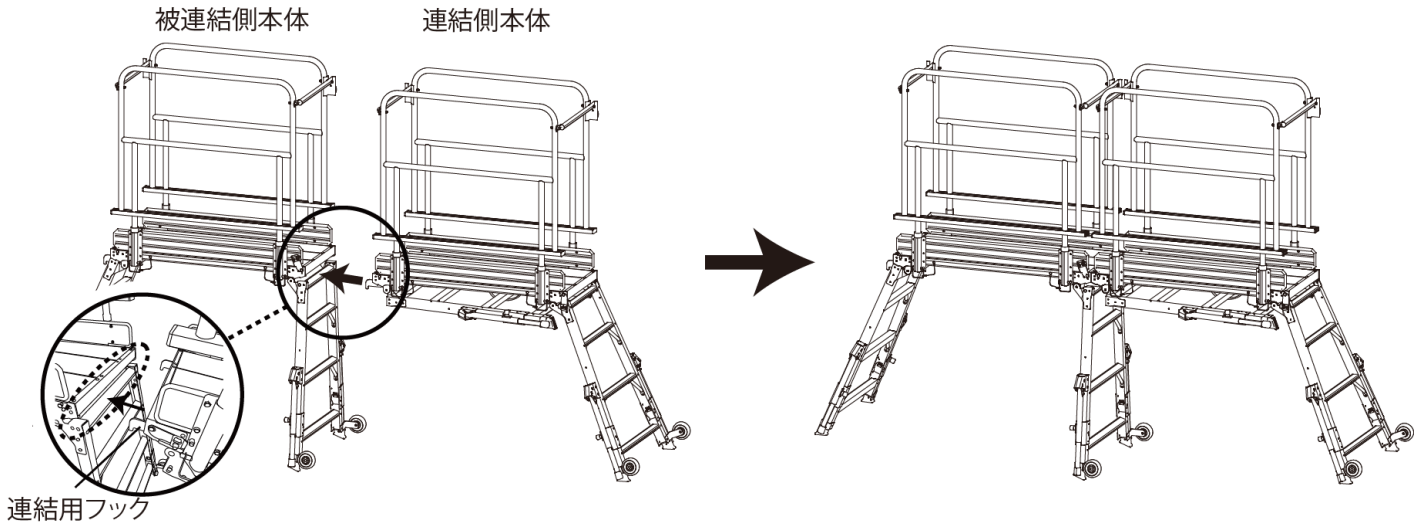


図14

③①で垂直に立てた被連結側本体の脚部(キャスター付側)を開き、開閉ロックレバーを再固定してください(図2、15参照)。

次に反対側に回り、連結側本体の開閉ロックレバーの金具を被連結側本体のピンに固定してください(図2、16参照)。

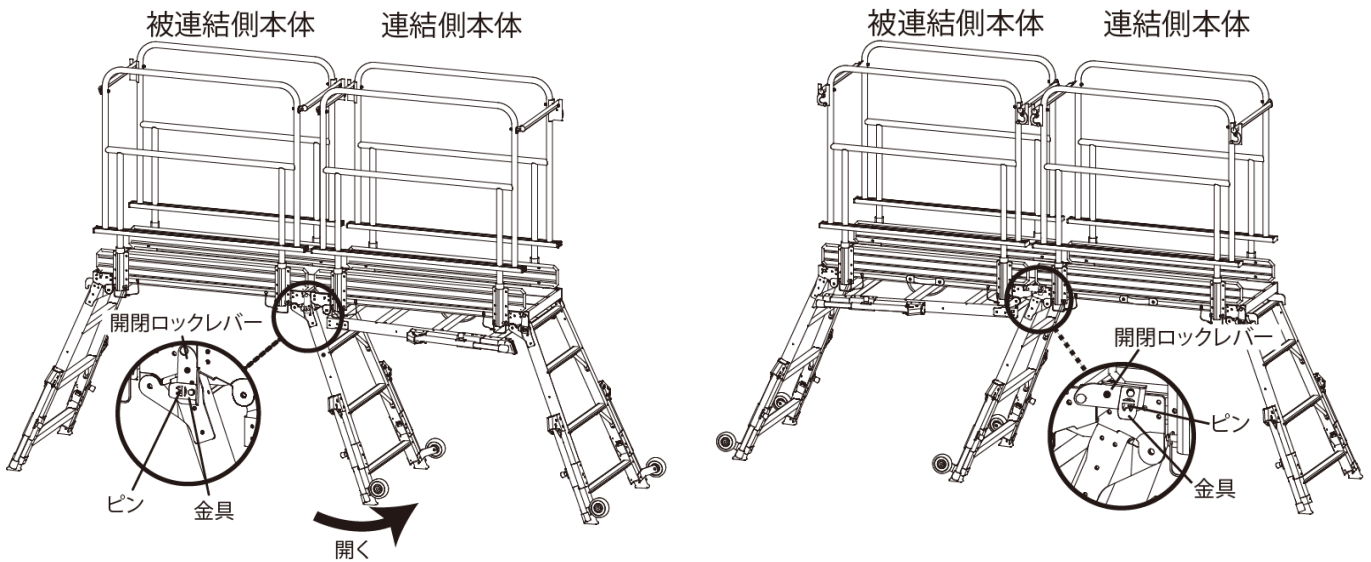


図15

図16

④『2-3, 準備方法』を参考に、全ての伸縮脚を必要な高さまで伸ばし、アウトリガーを開いてください。

## 2-7, 折りたたみ方法

①転落防止柵をホルダーから抜いてください(図6参照)。

②『2-3, 準備方法 ●アウトリガー展開・伸縮方法』を参考に、全てのアウトリガーを収納してください。

③本商品の天板(作業床)を地面側に向けて置き、反転させてください(図17参照)。

④伸縮脚を伸ばしている場合、『2-3, 準備方法 ●伸縮脚の伸縮方法』を参考に、全ての伸縮脚を収納してください。

⑤脚部の開閉ロックレバー2ヶを解除して、脚部を折りたたんでください。

⑥ホルダーベルトを踏ざん(ステップ)に回して、先端のカラビナを天板(作業床)裏の取付穴に掛けて、確実にロックしてください(図18参照)。

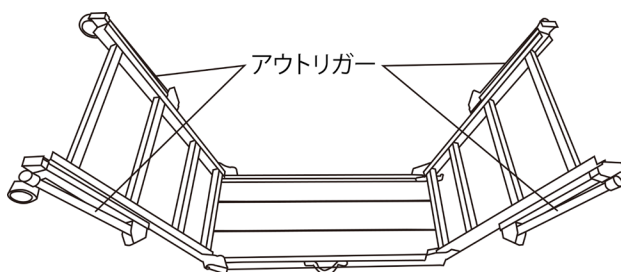


図17

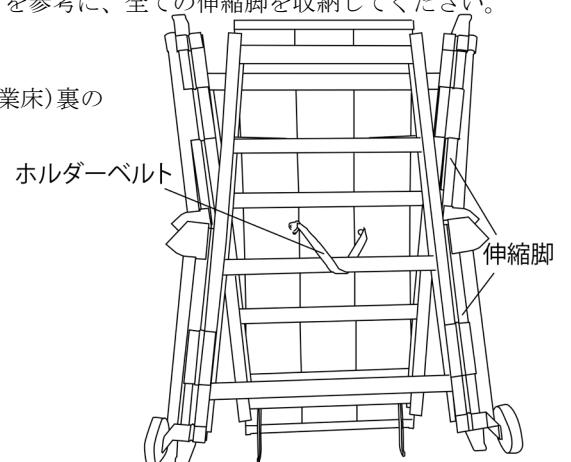


図18



## 2-8、運搬方法

### ●持ち運ぶ場合

- ①『2-7、折りたたみ方法』を参考に、折りたたんでください。
- ②天板(作業床)側面のハンドルの位置を確認し、ハンドルが上にくるように本体を横側にしてください。
- ③ハンドルを持ち、本商品を持ち上げて運んでください。

### ●キャスターを利用して移動させる場合

- ①『2-7、折りたたみ方法』を参考に、折りたたんでください。
- ②天板(作業床)が上にくるように向けて置いてください。
- ③キャスターが地面に付くように天板(作業床)を持ち上げ、キャスターを転がして運んでください。

## 2-9、使用場所

- ①**傾斜面や軟弱地では使用しない**でください。必ず舗装された平らな地面で使用してください。
- ②**強い風を受けない**場所で使用してください。
- ③周囲に危険な物が無く、バランス良く作業出来る場所に設置してください。
- ④設置後は、**本商品にガタツキが無い事を確認**し、ガタツキがある場合は、本商品を安定した場所に移動させてください。
- ⑤足下や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しないでください。
- ⑥人の出入り口(ドア付近など)には設置しないでください。
- ⑦床の開口部(床下収納など)の上、又は周辺には設置しないでください。

## 3、注意事項

**△危険** (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。)

- ①設置する時や、持ち運ぶ時は、**配電線等に注意**してください。感電する恐れがあります。

**△警告** (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う可能性のあるもの。)

- ①持ち運び、組み立て、設置をするときは、必ず手袋を着用してください。
- ②本商品の**耐荷重は150kg(連結使用時も全体で150kg)**です。それ以上の負荷を掛けないでください。
- ③『2-9、使用場所』として記載した条件以外の場所では、使用しないでください。
- ④台や箱などの上に本商品を載せて使用しないでください。
- ⑤高さ調整のために、脚部にパイプや木などをつないで使用しないでください。
- ⑥本商品は**1名用**です。それ以上の人数で使用すると、バランスを崩し、非常に危険です。
- ⑦連結時も**1名用**です。それ以上の人数で使用すると、バランスを崩し、非常に危険です。
- ⑧手放して昇降したり、身を乗り出したりしないでください。
- ⑨本商品を橋渡し等の水平使用は、絶対にしないでください。
- ⑩本商品以外を連結させて使用しないでください。
- ⑪本商品を加工、改造して使用しないでください。
- ⑫本商品が変形した場合、直ちに使用を中止してください。
- ⑬天板(作業床)の上に、台や脚立・他の作業台などを載せて、使用しないでください。
- ⑭身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。
- ⑮天板(作業床)の上に人や荷物を載せたまま、本商品を移動させないでください。
- ⑯天板(作業床)の端に立ったり、つま先立ちや片足で立つなどの不安全行為はしないでください。
- ⑰転落防止柵を持って無理な姿勢で身体を預けたり、端的な荷重をかけないでください。
- ⑱昇降時は静かに昇り降りし、天板(作業床)又は、踏ざん(ステップ)の途中から飛び降りたりしないでください。
- ⑲昇降時に、昇降面を背にして昇り降りしないでください。
- ⑳踏ざん(ステップ)の上で作業しないでください。
- ㉑天板(作業床)から他の天板(作業床)や踏ざん(ステップ)に乗り移らないでください。また、他の踏ざん(ステップ)などから乗り移らないでください。
- ㉒天板(作業床)と天板(作業床)の間に、足場板などをかけて使用しないでください。
- ㉓使用中に粉塵・廃材などの落下や付着が予想される場合は、シートなどで養生してください。
- ㉔天板(作業床)の上に、人や物を乗せたまま高さを調整しないでください。
- ㉕脚部を折りたたんだまま、建物に掛けたり、水平にして使用しないでください。
- ㉖天板(作業床)の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。
- ㉗天板(作業床)や踏ざん(ステップ)が斜めになった状態で使用しないでください。
- ㉘その他、本商品に異常を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。

**△注意** (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①使用するときは安全の為、ヘルメットを装着し、作業に適した服装を着用してください。
- ②お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ③運搬時は脚部を折りたたんで、ホルダーベルトで踏ざん(ステップ)を固定してください。
- ④飲酒・薬物を飲んだときや、疲労・病氣・妊娠中・身体に異常があるときは、使用しないでください。
- ⑤持ち運ぶ時は、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。
- ⑥組立時に手や指を挟まない様に注意してください。

